



平成27年度 重点「道の駅」の選定について

～沖縄県から初、道の駅「ぎのざ」が選定！～

国土交通省では、平成26年度より関係機関と連携して、地方創生の核となる特に優れた取組を選定し、重点的に応援する取組を実施しております。

地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものとして、今般、沖縄県から初となる重点「道の駅」が選定されましたので、お知らせします。

なお、県内には道の駅が8駅あり、道の駅「ぎのざ」は県内初の東海岸沿いの道の駅として平成26年10月に登録された8番目の道の駅です。

【沖縄総合事務局管内における選定結果】

○重点「道の駅」1駅

- ・ 沖縄県国頭郡宜野座村 道の駅「ぎのざ」

〈主な特長〉

宜野座エコ農産物や人材資源等を活用し「食育・地産地消活動」を促進

[参考：平成27年度 重点「道の駅」企画提案募集要領（抜粋）]

- 地方創生に資する地産地消の促進及び小さな拠点の形成等を目指した「道の駅」の新たな設置、又はリニューアル等の企画提案とします。

問い合わせ先

内閣府沖縄総合事務局

開発建設部道路管理課

担当者：課長 高良、課長補佐 岡本

TEL：(098)866-1915

FAX：(098)861-9929

沖縄総合事務局管内の重点「道の駅」位置図

重点「道の駅」

- ・沖縄県国頭郡宜野座村 道の駅「ぎのざ」

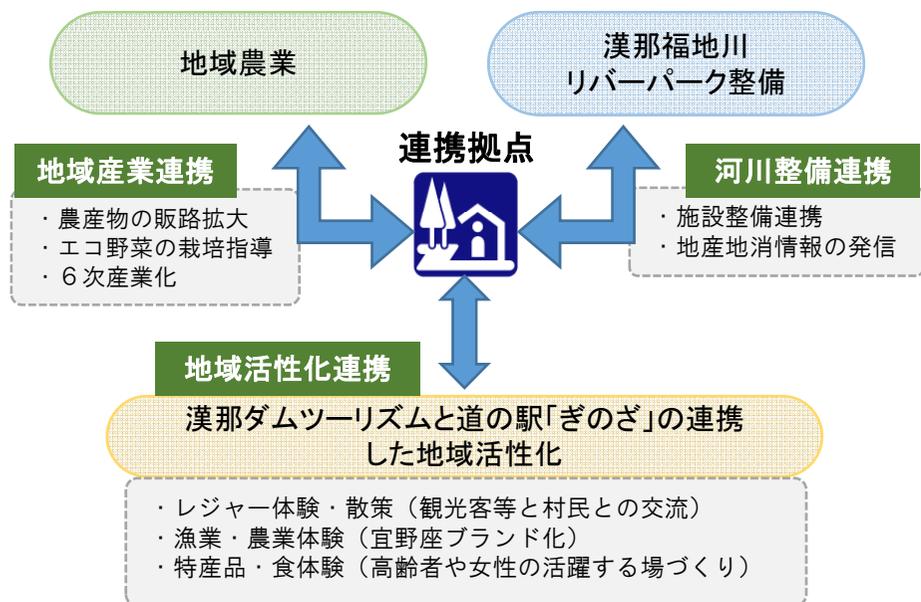


- スーパーや食堂等が無い地域に、地場農産物の情報発信や、ぎのざエコ野菜を活用した施設(レストラン)整備による地産地消の促進。
- 県内道の駅唯一のボランティアプランナー※1が実践する無農薬野菜や特産品の苺等の6次産業化による農家所得の向上。
- 道の駅に隣接した漢那福地川リバーパークやダムツーリズムを訪れる観光客と村民が交流できる地域コミュニティの創出。

※1 農林漁業者の身近なところでアドバイスやメディアへの情報発信を行う6次産業化の実践者(農水大臣任命) ※1 (ぎのざ駅長) 農林漁業者の身近なところでアドバイスやメディアへの情報発信を行う6次産業化の実践者

地域福祉 地産地消施設整備による住民サービスの向上	産業振興 宜野座野菜の付加価値の向上	交流・連携 ダムツーリズムとの連携による地域活性化
-------------------------------------	------------------------------	-------------------------------------

「農」と「食」による宜野座村の活性化



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
ぎのざ	沖縄県	宜野座村	国道329号	既設	平成26年度	単独型



<実施内容>

- 漢那福地川リバーパークと連携した地産地消活動の場づくり
⇒地産地消施設の整備、食育の実践・地産地消情報の発信
- 宜野座村の農業促進、6次産業化の実施
⇒宜野座エコ農産物の販路拡大、営農指導や生産者交流の実施、宜野座エコ農産物の6次産業化の促進
- 漢那ダムツーリズムと道の駅「ぎのざ」の連携した地域活性化
⇒観光客等と村民との交流、地域コミュニティの促進
主婦等の女性や高齢者の活躍する場づくり

<提案の先駆性・ポイント>

- 「道の駅」が各種施策の連携拠点となり、地域の活性化を推進
- 宜野座村の宜野座エコ農産物や人材資源等を活用し、「食育・地産地消活動」の促進と農家所得の向上

平成27年度 重点「道の駅」の概要

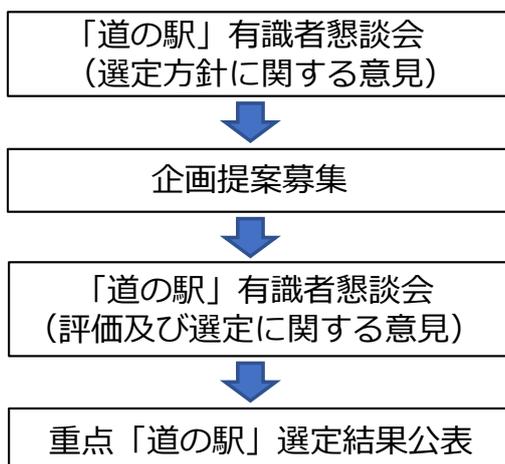
<主な取組内容>

①産業振興 地域の特産品を活かした産業振興「道の駅」
②地域福祉 地域の高齢化等に対応した住民サービス（地域福祉）を提供する「道の駅」
③交通結節点 公共交通の結節点として地域住民に交通サービスを提供する「道の駅」
④防災 災害時に高度な防災機能を発揮する「道の駅」
⑤観光総合窓口 地域の観光総合窓口となる「道の駅」
⑥インバウンド観光 インバウンド観光を促進する「道の駅」
⑦地方移住等促進 地方移住・ふるさと納税推進に貢献する「道の駅」
⑧交流・連携 地域間の交流・連携を促進する「道の駅」
※上記取組を実践する方法として 「道の駅」相互のネットワーク化により効果を発揮する「道の駅」

<支援内容>

- 自治体・関係機関による協議会等を設け、複数の関係機関の制度の活用等について、ワンストップで相談できる体制を作ります。
- 道路区域内の駐車場、休憩施設、トイレ、道路情報提供施設等は、直轄道路事業及び社会資本総合交付金等を活用して国土交通省が支援します。
- 重点「道の駅」の取組を広く周知します。

<選定の流れ>



「道の駅」有識者懇談会	
委員長：石田 東生	〔筑波大学 システム情報系社会工学域 教授〕
楓 千里	〔(株) JTBパブリッシング 取締役 ノジュール事業担当〕
篠原 靖	〔跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 准教授〕
根岸 裕孝	〔宮崎大学 教育文化学部 准教授〕
山田 知子	〔比治山大学 現代文化学部 教授〕
(敬称略・五十音順)	